

企画セッション

◆ 特許情報検索分析・IP ランドスケープ ◆

【講演者】

大藪 一 (おおやぶ はじめ) : 大藪知財戦略コンサルティング 知財戦略コンサルタント, 元アイ・ピー・ファイン株式会社 専務執行役員, 元パナソニック株式会社 戦略知財担当

村上直也 (むらかみ なおや) : Patentfield 株式会社代表責任者, 検索プラットフォーム開発者, IP NEXUS CTO

野崎 篤志 (のざき あつし) : 株式会社イーパテント代表取締役社長, 元ロンドン IP 合同会社シニアディレクター

櫻井 健太 (さくらい けんた) : 特許庁 審判部 審判官
(モデレータ)

杉山 典正 (すぎやま のりまさ) : 大阪工業大学 知的財産学部 知的財産学科 准教授

【内容】

2017年頃より「IP ランドスケープ」という言葉を多く目にするようになった。従来の特許、意匠などの知的財産権を対象に分析されていたパテントマップに加え、より広範囲な公開情報（市場データ）を統合的に融合させたアプローチとして広がりつつある。これは、経営判断の指標だけでなく、M&A 戦略、知財デューデリジェンスへと展開され、これまでパテントマップへがひとつの成果物であった知財情報分析に、新たな目的・指標を加え、知財部門が主体的に経営戦略へ加わるための、重要なファクターとなり得ると期待されている。

ただし、IP ランドスケープを構築するスキームが標準化されているわけではない。そのため、これまで培われてきたパテントマップのノウハウを整理し、現状を踏まえて展開することが重要である。

今日までに研究開発活動・経営意思決定に役立てるツールとして、多くのパテントマップの表現手法・ノウハウが提案されてきた。

代表的なものとしては、「J-PlatPat」「PatentScope」などの活用である。国内外を問わず無償データベースは広く利用されており、低コストで先行技術調査、知財情報活用、さらには教育においても有用なツールとなりうる。これらサービスは、制度改正、ICT 基盤の発展に伴い、バージョンアップが進められており、今後の開発動向が注目される。

また、商用データベースサービスにおいても、効果的な検索・分析ツールが提案されており、近年注目されているのが AI の活用である。OSS や Python ライブラリにおいても AI システムが公開されており、個人領域での AI 活用が進むほど普及が進んでいる。特許情報を評価・分類する領域においては、学習アルゴリズムを導入することで、検索精度の向上、母集団の解析、俯瞰的マップなど、さまざまな効果が期待できる。AI システムの導入は、すでにベンダーにおいて進められ、幾つか公開もされており、今後発展が進む領域として期待されている。

企画セッション

◆ 特許情報検索分析・IP ランドスケープ ◆

前記を鑑み、本セッションでは主に下記について議論を進め、「IP ランドスケープ」「今後の特許情報検索・分析」の展望について考察するものである。

【議論のポイント】

- ・ 経営意思決定・研究開発指標に資する特許情報分析手法の課題
- ・ 無償データベース (J-PlatPat) を利用した知財情報の活用と課題
- ・ AI を特許情報検索・分析に適用する効果と課題
- ・ IP ランドスケープ活用の国内外動向とその期待する効果

【略歴】

大藪一 (おおやぶ はじめ)

パナソニック株式会社にて研究開発及び知的財産権業務に従事。2000年からR&D知的財産権センターで戦略知財担当として知財戦略の策定と推進に10年間従事。2010年パナソニック退職後、アイ・ピー・ファイン株式会社入社、2017年より取締役専務執行役員兼知財コンサルティング部長。2018年10月2日より現職、セミナーや大手企業の知財戦略実践コンサルティング業務に従事。知財AI活用研究会事務局。

村上直也 (むらかみ なおや)

金融系ユーザーSI企業にてSEとして金融分野のITインフラ構築に携わった後、2010年国内特許事務所に転職。特許技術者として国内大手メーカーの光学、情報、機械分野の国内、内外の特許出願代理、中間処理の起案業務に取り組みながら、独学で特許検索エンジンの開発を開始。2015年から知的財産権の商業化に関するスタートアップIP Nexusに参画し、2015年11月同社CTOに就任。2017年4月、特許検索・分析Webサービス <https://patentfield.com> を立ち上げ、Patentfield株式会社を設立、代表取締役に就任。

野崎篤志 (のざき あつし)

日本技術貿易株式会社IP総研コンサルティングソリューショングループのマネージャーを経て、外資系特許調査・分析企業であるランドンIP日本オフィス立ち上げ時に参画し、顧客開拓・マネジメント全般を統括。平成29年5月に株式会社イーバテントを設立し、代表取締役社長に就任。技術動向分析・競合他社分析、知財デューデリジェンス、新規事業開発支援・アイデアおよび発明創出ワークショップなどの知財情報コンサルティング業務に従事。講演・セミナーや論文・寄稿、著書多数。

櫻井健太 (さくらい けんた)

2001年特許庁に入庁し、計測機器等の特許審査に従事。経済産業省商務情報政策局情報経済課、特許庁特許情報室等での勤務を経験。2016年より2年間、独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT) に出向し、特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) の運営や講習会等を担当。2018年10月より現職。

以上